

【テーマ4】 国立大学法人福岡教育大学

「教師の魅力向上につながる学生支援プロジェクト」

調査の概要

◆課題認識

- ・教職のマイナスイメージの払拭
- ・より主体的に教職を目指し続ける支援

◆調査研究の目的

- ・主体的な教師志望者の育成に向けた取組の在り方を究明

◆調査研究の方法

- ・学内外と連携を図り学生同士の交流を活性化させる

◆プロジェクト対象者

- ・本学初等教育教員養成課程1・2年

◆現状

- ・極端に低い九州地区の小学校教採倍率(R5年度) 福岡県1.4倍 佐賀県1.3倍 長崎県1.3倍 熊本県1.2倍
- ・本学新入生アンケート（5月実施） 「教師になることで心配なこと」 1位:保護者対応 2位:仕事量 3位:精神面

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

ポイントA

各学年14クラスの枠を超えて、同じ目標を持つ者同士教職への意識を高める



学内定例交流イベント

ポイントB

学外の様々な人と交流し、改めて自身の教職志望意志を刺激する



附属小教育実習担当者



教員採用試験担当者

交流イベントの実施



山間部の小学校



教員志望の高校生



本学を卒業した1年目の教員



教員志望の他大学の学生

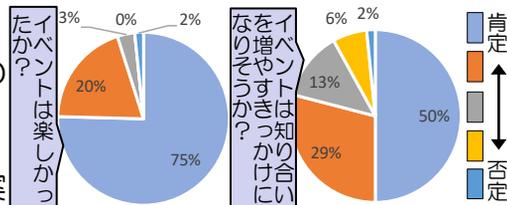
ポイントC

全学フォーラムを開催し、交流イベントの成果や、「養成」「採用」「研修」の立場からの教師の魅力を発信する



◆成果

- ①入学時から教職に主体的に関心を持ち続けるための取組の在り方を提起
- ②プロジェクト参加者の教職への意識を高めることに寄与
- ③教職への意識を高めるため、学外との連携の在り方を提案



今後の課題

◆課題

- ・多くの学生が参加できる交流イベントの日常化
- ・全学が一体となってプロジェクト推進できる体制整備
- ・将来的な評価方法の検討

◆今後の展望

- ～プロジェクト対象学生の拡大～
- ・初等教育教員養成課程以外の課程へ
- ・1・2年生以外の学年も